



みはらふくし情報

3月号

令和6(2024)年
3月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

高齢者や障害のある人の気持ちを考える ～久井小学校4年生 福祉体験学習～

久井地域センター



高齢者疑似体験・車いす体験



デイサービスセンター久井の利用者との交流



粘土



折り紙

社協では、市内の小中学校等で行われる福祉の学習や地域貢献活動を支援しています。

久井小学校では、4年生の児童34人が、1年間かけて「生活のしづらさを抱える人の気持ちを考える学習」に取り組みました。昨年の12月11日に行われた「高齢者疑似体験」では、ゴーグルや重りを使い、目の見えにくさや、膝の曲がりにくさを体験しながら、高齢者の気持ちを想像しました。また、2月16日には、デイサービスセンター久井の利用者と、子どもたちが考えたレクリエーションで交流しました。高齢者らは「よく頑張ったね！とっても良かったよ！」「また来てね！」と大喜び。児童からも「地域でお会いしたら声をかけてください。私たちも頑張って声をかけます！」と挨拶しました。同じ地域に住む人同士、互いに声をかけ合い、支え合える地域づくりが進んでいくことを期待しています。

月1度でもお会いしましょう

～大和町サロン「ご近所のつどい」開催100回目～

大和地域センター



100回を記念して写真撮影☆
「写真は思い出に残るのでいいね」と好評でした！

大和町下徳良地域の下市地区でサロン活動に取り組む「ご近所のつどい」が、1月で活動回数が100回を迎えました。

100回目となった1月16日の活動では、新年最初の活動ということもあり、全員でぜんざいを作ったり、黒豆など季節の食べ物を食べたりしながら談笑しました。

活動について皆さんに伺うと、「立ち上げた当初は、サロン以外の交流は多くなかった」と話します。回数を重ねることで関係性が深まり、今では互いの自宅でお茶をするほどの関係になっているようです。「月1度とはいえ、みんなで会えるのが楽しみです」と地域で集まる機会や場所があることへの喜びの声を聞きました。

「ご近所のつどい」では、90歳を超える最高齢の人が活動の報告書を作成する他、メンバー13人全員で役割分担しながら運営する様子が素敵でした。

場所	とるべき行動
街頭	・カバン等で頭を保護しながら、空き地や丈夫な建物の中、街路樹の下に逃げる。
お店の中	・買い物かごなどで頭を保護する。 ・陳列ケースや商品棚から離れる。
駅のホーム	・柱などにつかまり、ホームに転落しないように注意する。 ・時刻表示板やモニターカメラは落下の恐れがあるので離れる。
車の運転中	・急ブレーキは危険。徐々にスピードを落として車を道路の左側に停車する。 ・ロックはせずに鍵をつけたまま車から離れる。
海岸	・津波の危険性があるので、ただちに高台に避難する。

○参考 愛知県「家庭でできる地震対策」より
<https://www.pref.aichi.jp/bousai/katei/index.html>



能登半島地震をはじめ、2011年3月の東日本大震災など、大地震が頻繁に起こる昨今。地震はいつ起きるか分かりません。
今回は屋外で地震が発生した際、どんな行動をとればよいかを紹介します。自分のいる場所によってとるべき行動が変わります。参考に見てみてください。

屋外で地震が起きた時とるべき行動は？
地震から身を守る方法